

中央電気倶楽部月報

◎巻頭言

「新理事長挨拶」

／理事長 加藤 好文

◎午さん会講演録

『手数料が世界経済を決定する
コミッション・キャピタリズムの形成から現代まで』

／京都産業大学 経済学部 教授 玉木 俊明 氏

2023

4

Vol.850

中央電気倶楽部月報

令和五年四月一日発行 一般社団法人 中央電気倶楽部 〒530 0004 大阪市北区堂島浜一丁目二十五 電話〇六一六三四五一六三五(代) FAX〇六一六三四五一六八七七

倶楽部からのご案内

～今回の倶楽部ならではの～

- ◎一般には公開していない施設を見学
 - ①関西電力送配電(株)中央給電指令所
・電力供給網の心臓部
最近の電力需給逼迫によりその役割がクローズアップ
 - ②(株) hidroエッジ水素製造プラント
・エネルギーとして利用する際もCO₂を出さない脱炭素社会への切り札として期待される水素の製造現場
- ◎ランチ (カルトブランシュ)
 - ・白いバラのシャンデリアがお迎えするフレンチレストラン
メニューには載っていない特別なコース料理をご提供
- ◎堺伝匠館
 - ・世界に誇る包丁などの展示を専属ガイドがご案内
刃物づくりの工程ごとの素材でできたシャンデリアは見応えあり

春の電気施設関係見学会は、電気、水素等生活に深く関わりのある物を扱う施設を見学いたします。
午前中は、関西電力送配電(株)中央給電指令所を見学。電気の流れを監視し、制御する指令所をご案内いたします。ランチは、本町にあるフランス料理店「カルトブランシュ」で、フレンチのブチコースをお愉しみ下さい。
午後からは、堺方面に移動し、(株) hidroエッジにて水素製造プラントを見学いたします。
その後、堺伝匠館にて刃物をはじめとする堺の伝統工芸について学んでいただきます。
お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

春の電気施設関係見学会のご案内

開催日

令和五年四月二十六日(水)【雨天決行】

集合 八時四十五分 中央電気倶楽部一階 ロビー

行程 アロフト大阪堂島(旧堂島ホテル前)：関西電力送配電(株) 中央

給電指令所(見学)：カルトブランシュ(昼食)：(株) hidroエッジ(見

学)：堺伝匠館(見学お土産)：ア

ロフト堂島前と大阪駅(十七時頃

帰着予定)

定員 二〇名(同伴歓迎)先着順とします。

会費 会員(ご家族含む) 一、二、〇〇〇円

会員外 一五、〇〇〇円

(会費は当日ご持参下さい。)

申込み 四月十九日(水)までにTELまたは

FAXで倶楽部事務局(更谷)までお

申し込み下さい。

TEL 〇六一六三四五一六三五(直通)

FAX 〇六一六三四五一六八七七

※開催日の前々日以降は、会費の半

額をキャンセル料として申し受け

ます。

今後の見学会の予告

当倶楽部では左記の見学会を予定しております。

『会員ご家族婦人会見学会』

開催日 令和五年五月二十四日(水)

行き先 福知山方面

(福知山城、グンゼ記念館スケエ

アー等)

グンゼ記念館では創業当時の歴史的展示

物を休館日に貸切で見学。

スケエアーはバラ園が見頃。

『文化研究会見学会』

開催日 令和五年六月二十日(火)

行き先 けいはんな学研都市方面

(国立国会図書館、福寿園CHA

遊学パーク、平城宮跡)

国立国会図書館では普段入られない書

庫を見学。

福寿園CHA遊学パークでは石臼を使って

のお茶挽き体験。

※予定変更の場合は改めてご案内いたし

ます。



「近代化産業遺産」プレート

目次

4月のスケジュール — 2
5月の予定
新理事長あいさつ — 4
絵画 — 5
講演録 — 6~14
倶楽部だより — 15~16
同好会だより — 17~19
倶楽部からのご案内 — 20

創立：大正3年11月
建物(本館)：昭和5年竣工
会員数：1,437名

法人指定会員 1,198名
個人会員 239名
(R.5.3未現在)

四月のスケジュール

| | | |
|-----|---|---|
| 一 | 土 | 三倶楽部対抗四ツ玉競技会(於大阪倶楽部) |
| 二 | 日 | 青年会例会 |
| 三 | 月 | 写真部撮影会(彦根城) |
| 四 | 火 | 絵画部(水彩画)(B一〇号室) 社交ダンス教室(B一〇号室) |
| 五 | 水 | 電社・電寿会見学会(パナソニックエコテクノロジーセンター他) 社交ダンス教室(B一〇号室) 講演『ウクライナの教訓』 反戦平和主義(パシフィズム)が日本を滅ぼす アゴラ研究所 フェロー 東海大学海洋学部 非常勤講師 公益財団法人 国家基本問題研究所 客員研究員 潮 匡人氏 |
| 六 | 木 | 電社・電寿会見学会(パナソニックエコテクノロジーセンター他) 社交ダンス教室(B一〇号室) 講演『ウクライナの教訓』 反戦平和主義(パシフィズム)が日本を滅ぼす アゴラ研究所 フェロー 東海大学海洋学部 非常勤講師 公益財団法人 国家基本問題研究所 客員研究員 潮 匡人氏 |
| 七 | 金 | 電社・電寿会見学会(パナソニックエコテクノロジーセンター他) 社交ダンス教室(B一〇号室) 講演『ウクライナの教訓』 反戦平和主義(パシフィズム)が日本を滅ぼす アゴラ研究所 フェロー 東海大学海洋学部 非常勤講師 公益財団法人 国家基本問題研究所 客員研究員 潮 匡人氏 |
| 八 | 土 | 囲碁部例会 撞球部例会 |
| 九 | 日 | |
| 十 | 月 | |
| 十一 | 火 | 社交ダンス教室(B一〇号室) |
| 十二 | 水 | 社交ダンス教室(B一〇号室) |
| 十三 | 木 | |
| 十四 | 金 | 午さん会 講演『宮本武蔵 五輪書を読む』 『世界に通用するサムライのプリンシプル』 関西大学 国際部 教授 アレキサンダー・ベネット氏 |
| 十五 | 土 | いなづま句会(二一五号室) 初・中級者向け囲碁教室(十時~十二時・二〇五号室) 囲碁部指導日 |
| 十六 | 日 | |
| 十七 | 月 | |
| 十八 | 火 | ゴルフ部例会(伏尾GC) 社交ダンス教室(B一〇号室) |
| 十九 | 水 | 社交ダンス教室(B一〇号室) |
| 二十 | 木 | 午さん会 講演『癒しのユーモア』 淀川キリスト教病院 名誉ホスピス長 相談役 柏木 哲夫氏 |
| 二十一 | 金 | 午さん会 講演『癒しのユーモア』 淀川キリスト教病院 名誉ホスピス長 相談役 柏木 哲夫氏 |
| 二十二 | 土 | 将棋部例会・指導日 |
| 二十三 | 日 | |
| 二十四 | 月 | |
| 二十五 | 火 | |
| 二十六 | 水 | 電気施設関係見学会(関西電力送配電(株) 中央給電指令所他) 社交ダンス教室例会(B一〇号室) |
| 二十七 | 木 | |
| 二十八 | 金 | 午さん会 講演『米中対立』 アメリカの戦略転換と分断される世界』 東京大学 東洋文化研究所 准教授 佐橋 亮氏 |
| 二十九 | 土 | 昭和の日 |
| 三十 | 日 | |

※予定変更の場合は改めて連絡いたします。

四月の午さん会講演

- ◎四月七日(金)
講演『ウクライナの教訓』
反戦平和主義(パシフィズム)が日本を滅ぼす
アゴラ研究所 フェロー
東海大学海洋学部 非常勤講師
公益財団法人 国家基本問題研究所
客員研究員 潮 匡人氏
- ◎四月十四日(金)
講演『宮本武蔵 五輪書を読む』
『世界に通用するサムライのプリンシプル』
関西大学 国際部 教授 アレキサンダー・ベネット氏
- ◎四月二十一日(金)
講演『癒しのユーモア』
淀川キリスト教病院 名誉ホスピス長 相談役 柏木 哲夫氏
- ◎四月二十八日(金)
講演『米中対立』
アメリカの戦略転換と分断される世界』
東京大学 東洋文化研究所 准教授 佐橋 亮氏

五月の午さん会講演(予定)

- ◎五月十二日(金)
ビデオ映画鑑賞会
『ユーゴーランドの若大将』(八十六分)
主演 加山 雄三
酒井和歌子
監督 福田 純
- ◎五月十九日(金)
講演『乱れる国際秩序と今後の日本』
『ロシアのウクライナ侵略後の世界』
皇學館大学 現代日本社会学部 村上 政俊氏
准教授
- ◎五月二十六日(金)
公演『津軽三味線演奏』
津軽三味線演奏家 佐山 千尋氏

午さん講演会にご出席のおすすめ

毎週金曜日の午さん講演会は、下記の要領で開催いたしておりますので、多数ご出席ください。
出席資格：倶楽部会員およびご同伴の方、会員会社の社員の方
時間：12時~13時40分頃(講演12時40分~13時40分)
場所：3階大食堂
食事代：一人会員2,200円(税込) 非会員2,500円(税込)
予約：不要
着席：自由着席

「ごあいさつ」

理事長(代表理事) **加藤 好文**
(京阪電気鉄道株式会社
 代表取締役会長)



このたび、皆様のご推挙を賜り、歴史と伝統のある中央電気倶楽部の理事長に就任いたしました。身に余る光栄であり、大正三年の創立以来、一〇〇年を優に超える長きにわたり、先輩諸兄が築き上げてこられた当倶楽部の歴史をしっかりと引き継ぎ、微力ながら、さらなる発展に努めて参る所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、ここ数年というものの、新型コロナウイルスは私たちの営みに多大かつ深刻な影響を及ぼしてきました。この間、当倶楽部も例に漏れず、緊急事態宣言の発出を受けて長期の休館を余儀なくされる等、事業運営に深刻な影響を受けることとなりました。会員の皆様には繰り返しご不便とご心配をおかけいたしました。おかげさまで昨年あたりから徐々にではありますが、会員様のご理解、ご協力により貸室や食堂のご利用も右肩上がりに増えるなど、当倶楽部は間違いなく元氣を取り戻しつつあるように思います。

今後においても、これまで二類相当とされていた感染症の分類を五類に移行するとともに、マスク着用ルールも緩和されるなど、ここに来て新たな展開も見えてまいりました。新たな生活スタイルに転換することで人々の生活も元氣を取り戻しつつあり、今後、人の往来や交流が活発になっていくも

のと大いに期待しています。

今年度は、当倶楽部としてもこの流れをしっかりと受け止め、一日も早くかつての賑わいを取り戻し、会員の皆さまにご満足いただけるよう、事業計画に沿って積極的に事業を展開し、前向きに進んで参りたいと思います。

過去の歴史を振り返りましても、当倶楽部は先輩諸兄のご尽力により、創立以来、幾度も厳しい試練を乗り越えながら、今日まで着実に歩みを続けて参ったわけですが、本年は創立一一〇周年を迎えます。このような節目の年に理事長の大役を拝しますことは身の引き締まる思いであります。

当倶楽部が、これからも会員の皆様にあられる存在であり続けるため、先輩方の築いてこられた歴史と伝統を尊重しつつ、新たな時代の要請にもしっかりと応えることで、これを継承、発展させて参る決意でございます。皆様には様々な形での支援をお願いすることになるかと思いますが、なにとぞご理解を賜り、今後も当倶楽部をいっそう盛り立てていただきますよう、心よりお願い申し上げます。

末筆ではございますが、会員各位の今後益々のご健勝とご発展を祈念して、就任のご挨拶とさせていただきます。これから一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



「滝の音が聞こえる光景」 個人会員 根岸 学 君

作者のひと言

コロナ感染拡大の時期、滝へ行く道の人通りはまばらだった。滝はそんなことには関係なく、いつものように音を立てて流れ落ちていた。その音だけを聞いていると、心が静かに反応する。遠い音でなく、近い音でもなく……。

そんな光景を、五〇号(約一一七×九一センチ)のキャンバスに描いてみた。

(絵画部員 根岸 学)



京都産業大学 経済学部
教授 玉木 俊明 氏

『手数料が世界経済を決定する コミッション・キャピタリズムの 形成から現代まで』

玉木 俊明 氏 プロフィール

| | |
|------|---|
| 略歴 | 大阪市生まれ 1987年 同志社大学 文学部 文化学科卒業 93年 同大学大学院 文学研究科 (文化史学専攻) 博士後期課程単位取得 96年 京都産業大学経済学部 講師 2000年 京都産業大学経済学部 助教授 07年 現職 |
| 専門 | 近代ヨーロッパ経済史 |
| 所属学会 | 経営史学会、文化史学会、社会経済史学会、日本西洋史学会 |
| 著書 | 『海洋帝国興隆史 ヨーロッパ海・近代世界システム』(講談社選書メチエ 2014年) 『北海・バルト海の商業世界』(編著 悠書館 2015年) 『ヨーロッパ(覇権史)』(ちくま新書 2015年) 『歴史の見方——西洋史のリバイバル』(創元社 2016年) 他 |

はじめに

現代社会を考えていく上でまず重要視すべきは、「ヨーロッパが対外進出をした」ということです。このことが現代の社会というものを形づくっていったのですが、そのとき、ヨーロッパの船で商品を輸送していたという点を見過ぎてはなりません。

はじめに、まず「覇権」とは何

イギリスにおける

コミッション・キャピタリズムの

形成

最近になって私は、コミッション(手数料)というものが重要であることがわかってきました。銀行は単にお金を貸すだけではなく、事業を多角化し、手数料収入を得るようになってきたように、手数料収入の重要性がだんだんと明確になってきました。

ある覇権国が築いたプラットフォームを使用することに対して、その他の国々は覇権国に手数料を払うというシステムといえば、世界最初の産業革命を起こした十八世紀後半のイギリスを思い浮かべます。イギリスは産業革命により綿織物工業を発展させたわけですが、綿は本来はインド産でした。イギリス産業革命は、インド綿の輸入代替でした。そして現代社会をつくった革命においては、十九世紀末から二十世紀初頭、ドイツやアメリカで興った重化

かというところを取り上げておきます。英語では「ヘゲモニー

(hegemony)ですが、「圧倒的な力を持つている」という意味になります。現代流に言えば、プラットフォームを形成しているということですが、何が正しくて何が間違っているのかを決めることができる。それがイギリスの政治学者、スーザン・ストレンジがいう「構造的権力」という

学工業が重要な役割を果たしています。それまで世の中になかった新しい素材をこのときからつくり出したからです。つまり、化学工業を発展させたのです。

十八世紀以前、イギリスは毛織物の国であり、その後綿織物の国となっていきますが、十九世紀末から化学繊維の生産が大きく増えま

り、それを売り出すシステムを構築し、イギリス船で世界中に販売しました。対して植民地の少ないドイツは、土地(植民地)に依存しないような経済システムをつくり出さなければならず、工場で化学繊維をつくり、それを売ります。これを構築し始めます。このときからイギリスは世界最大の産業国家という地位を保てなくなってくるのですが、それでも世界の海運をコントロールしているのはイギリスであり、世界中の商品の一定割合以上をイギリスの船が運んでいました。イギリスの貿易

のもです。ストレンジは、あるゲームのルールを設定し、そのルールを強制できる国家を「構造的権力」と言いました。それは、「覇権国家」だと言い換えることもできます。長い期間、それはイギリスであり、今はアメリカであり、今後は中国になるのだろうか、どうだろうかということ、これからは考えていかなければなりません。

収支は一七二〇年から一九一〇年まで、基本的には赤字続きでしたが、それを海運業や保険業、そしてサービス業による収入でカバーし、これが十九世紀後半以降、とみに顕著になっていきます。

各国は世界最大の保険会社であるイギリスの保険会社ロイズで海上保険をかけていました。ちなみに保険に対して保険をかけるという再保険もあります。これもイギリスが中心地です。十九世紀、世界最大の海運国家であったイギリスは、海上保険を発展させ、特に海上保険で大きな収入を得ていたわけです。

加えてイギリスは世界の電信の大半を敷設しました。無線電信を開発したのはイタリア人のグリエルモ・マルコーニという人物ですが、これをイギリスの会社が発展させます。船も鉄道も軍事情報も、ありとあらゆるやりとりを電話でなく電信で行います。すべてが自国の利益になるようなパッケージ、プラットフォームをつくりあげ、その中核に電信を置いたので

す。これにより電信決済の手数料収入の重要性が増していき、その結果、世界金融の中核となったイギリスには、世界経済が成長し、貿易量が増えれば増えるほど膨大なコミッション、手数料収入が入ってくるようになる。イギリスは海運業を発展させ、電信を敷設し、その電信をメンテナンスすれば、放っておいてもお金が儲かる仕組みを作りました。私はこの仕組みを、以前は「手数料資本主義」といつていましたが、今は「コミッション・キャピタリズム」としています。イギリスのコミッション・キャピタリズムの最大の特徴は、世界経済が発展し、国際貿易の取り引きが増えれば増えるほど、イギリスには自動的にお金が入るようにしたことです。イギリスは本当に賢いと思わざるをえません。

イギリスのプラットフォームのなかにあった日本の産業革命

十九世紀末、日本の産業は生糸と

であったかどうかはわかりません。

蒸気船は石炭を溜めておかなければなりませんから、どうしてもエンジン関係のスペースが必要となります。三分の一が動力関係で占められます。船そのものを大きくしなければ効率的な輸送ができなくなるため、船舶は徐々に大型化していきま

す。イギリスからの航路としては、まずはスリランカまで航海し、そこでアジア方面に向かう船とオーストラリア方面に向かう船に分かれます。オーストラリアへの定期航路が誕生し、イギリスは南半球のオーストラリアにまで海上輸送網を発展させていくわけです。アジアに向かった船はアジアの様々な商品を輸送します。この輸送による利益もイギリスにどんどん流れ込んでいきます。アジアの貿易量が増えれば増えるほどイギリスが儲かる。これもイギリスのコミッション・キャピタリズムのひとつです。

ある計算によれば、当時のイギリ

綿が中心でした。日本の産業史では「東洋のマンチエスター」と紹介され、大阪では綿織物工業が一大発展を遂げ、二十数社の紡績会社があった、となっています。しかしそれは、経済学でいう後発型の工業化であり、わかりやすくいえばニッチを狙ったものすぎなかったのです。当時はすでに綿織物から徐々に重化学工業、化学繊維へと移行し始めていて、儲かっていたのはむしろイギリスのコミッション・キャピタリズムでした。

イギリスはどういう面で世界を変えていったのでしょうか。言い換えれば、どのようにして世界を縮めていったのでしょうか。

ひとつには、もちろん産業革命があります。次には蒸気船の存在が諸国の蒸気船がアジアに入ってくるようになり、アジアの物流を担うようになっていきました。これによりアジアの貿易量が増えていきます。

一八七〇年から太平洋戦争が始ま

スの輸送船舶の数は世界のトン数の半分は占めていたとされています。真偽のほどは定かではありませんが、イギリスが世界最大の海運国家であり、その地位は第二次世界大戦が終わる頃まで保っていたことは間違いありません。

イギリスは工業製品の輸出で儲けていたというよりも、海運業、電信、保険業によって儲けていて、私たち日本人もイギリスがつくったそのプラットフォームを使わざるをえなかった。つまり、日本の産業革命はイギリスのプラットフォームのなかにあったことを強調しておきます。

イギリスと

タックスヘイブンの関係

ここからはイギリスとタックスヘイブンの関係について触れていくことにします。現在においてもイギリスのつくったプラットフォームシステムがなお大きな影響を及ぼし続け

る頃まで、アジア全体の貿易量が増えていきました。特に日本の貿易量が増えます。日本は、日本郵船など自国の船舶で商品を運ぶことができたのですが、当時、アジアの商品輸送で最も多かったのはイギリスの蒸気船によるものでした。蒸気船がなければ、物資を大量に輸送することはできません。したがって、日本、中国、上海、インドで当時盛んだった綿織物工業においては、イギリスの植民地であったインドの綿織物は主にイギリスの蒸気船で運ばれていただろうし、中国もイギリスの蒸気船の占める率が高かったはずで

す。アジアのなかで蒸気船が増えていき、海上貿易からみたアジアの物流においてイギリスの船舶が最大のシェアを占めていたわけです。

中国でも自前の蒸気船を増やしていましたが、中国では長らくジャンク船といわれる帆船が海上輸送を支配していました。十五世紀には三百トン、四百トンクラスの大型の帆船もあつたはずですが、それが効率的

ているという点は重要視しておかなければなりません。

イギリスの正式名称は「グレートブリテン及び北アイルランド連合王国」です。国旗は皆さんもご存知のユニオンジャックで、イングランド、スコットランド、アイルランドの国旗を合わせたものになっているのは、イングランドが併合した他国を懐柔しようとしていたことに由来します。つまり、イギリスとはイングランドを中心とした「複合国家」です。イギリスに限らず、どの国も本来は複合国家であり、それは珍しいことではありませんが、イギリスは今なお旧植民地との関係が強い。

かつて世界の四分の一ほどがイギリス領であった大英帝国の時代がありました。今は地図上には明確な形でそれを示しているものはありません。ただし、今でもイギリス国王が君主であるという国があります。君主とまではいなくても、君主に準じたような存在としている地域も世界中にたくさんあります。

それだけではありません。今の時代、私たちも英語を使わざるをえなくなっています。アメリカの力が強いからともいえるわけですが、そのアメリカはイギリスの植民地でした。すなわち、世界で英語が使われている限り、イギリスの力はたいへん強いものがあるわけです。英語で論文を書くときに専門の業者からネイティブチェックを受けることがあります。私の場合はアメリカ人とイギリス人がチェックしてくれませんが、そういう仕事だけではなく、イギリスで就職ができなかったとき、日本に来て英語の先生をするという道もあります。それは世界中が英語を使っているからであり、同時にイギリスとアメリカが覇権国家であったことを意味する名残であろうと思うのです。

さて、金融というものはなかなかわかりづらい世界ですが、間違いないことは、イギリスは世界の金融の中心であったという点です。十九世紀末から大英帝国下の各地が網の

一七八〇年、減税法が施行されたことにより、茶葉の税率は一二・五%になります。一二・五%でも十分に高いと思うのですが、税率を大幅に下げたことにより茶葉の密輸はなくなりしました。つまり、イギリスの茶葉輸入での租税回避行動とは、関税を避けることでした。そしてイギリスの東インド会社が輸入したものは低級茶葉、フランスのブルターニュ地方から輸入したものは高級茶葉ということになり、以来、イギリスは茶を飲む国民になっていったと考えられます。

密輸の時代で、現代のタックスヘイブンのインフラができていました。カリブ海地域でイギリス領だったケイマン諸島、あるいは今もイギリス領であるヴァージン諸島がタックスヘイブンの地として知られています。ケイマン諸島最大の島、グランド・ケイマン島の面積は一九六、八四平方キロメートル、ヴァージン諸島は総面積で一五三平方キロメートルです。五九二、二平方キロメー

目のように張り巡らされた金融ネットワークによって結び付けられています。中心はロンドン。大英帝国は、このときから金融帝国へとなっていくわけです。

当時、イギリス本国の予算編成で最も重要なものはインドからのお金でした。インドがなければ大英帝国そのものが成り立たない。インドだけでなく、帝国下の植民地のすべてが本国のために機能していたはずですが。そのイギリスの金融ネットワークは世界中に大きな影響を及ぼして、手数料収入でイギリスは大きく儲けていた。このことがタックスヘイブンにつながっていくようになります。

タックスヘイブンといえば、租税回避行動が焦点になってきます。租税を回避するためにタックスヘイブンを使うことが現在のあり方になっているわけですが、十六世紀から十八世紀の近世ヨーロッパ時代にも租税回避行動が行われていました。それは国際商業の面から、昔は密輸

トルの淡路島や一、四九〇平方キロメートルの佐渡ヶ島と比べると分かりやすいのですが、小さな島々です。本来、小さな島はサトウキビ栽培にはあまり向いていないのですが、十八世紀から十九世紀にかけて、カリブ海諸島が砂糖生産で栄えていたのは、当時から密輸基地として使われていたからではないかと推測されます。それが現代になり、タックスヘイブンに変わっていったのだと思います。

王室属領とタックスヘイブン

さらに、イギリス王室属領とタックスヘイブンの関係性を見ておきます。王室属領であるケイマン諸島とヴァージン諸島は、「グレートブリテン及び北アイルランド王国」に属しているわけではなく、「イギリス国王」に属した領土であり、高度な自治権を持つ地域となっています。要するに国王の領土であり、内政に関してイギリス議会の支配を受けな

で行われ、そこから現在はタックスヘイブンに移行してきたと考えればよいと思います。

イギリスの産物といえば美味しい紅茶です。イギリスの紅茶は東インド会社が独占的に輸入することになっていましたが、スウェーデンにもスウェーデン東インド会社があります。そのスウェーデン東インド会社はスウェーデンの国民が飲んでも飲みきれないほどの茶葉を中国・広州から輸入していました。では、飲みきれない茶葉はどこへいくのか。おそらくイギリスに密輸していたと思います。

あるいは、フランスのブルターニュ地方も広州から茶葉を輸入していましたが、これもイギリスに密輸していたと思われる。スウェーデンやフランスからすれば通常の輸出ですが、イギリスにしてみれば密輸入です。

密輸をしていた理由は、税率が高いからです。当時の茶葉への税率は一九%以上もありました。これがい。独自の議会と政府があり、それをイギリス国王が所有し、収入はイギリス国王のものとなる。これをイギリス国王がイギリスに税金として払っているという構造になっているのです。

この地域はイギリスがEUに加盟していたときも、EUに属していません。イギリスではなく、イギリス王室のものだからです。しかしイギリス王室のものである以上、イギリスの政策の影響を受ける。この極めてグレーな部分を利用することができるのは、イギリスの強みであるともいえます。

他にも、イギリス海峡にあるチャンネル諸島、あるいはアイリッシュ海のマン島は、伝統的にイギリス国王が王国外に所有していた領地ですが、いずれも元々は密輸基地で、現在はタックスヘイブンの地となっています。つまり法律的にグレーなエリアがタックスヘイブンの地となっているわけです。

本国イギリス自身もタックスヘイ

ブンを優遇する措置をとっていません。タックスヘイブンの実態を暴露した「パナマ文書」を流出させたモサック・フオンセカ・カンパニーがペーパー会社をつくった場所は、約半分がイギリス領ヴァージン諸島です。したがって、イギリスの影響力が大きく働いています。王室属領は当然ながらイギリスの利害と大きく関係し、所有者であるイギリス国王はその地位を自分たち自身のためにも、イギリスの利益のためにも使用することができません。したがって理論上は、イギリスはイギリス国王を通じてタックスヘイブンを利用することができると同時に、タックスヘイブンを利用できるイギリスの国の一部であれば、つまりスコットランドとアイルランドは、両者とも大きく儲けることができるわけです。大英帝国の時代があった以上当然の割合なのでしたが、実に世界のタックスヘイブニリストの三十五地域の内、二十二地域がイギリスに関係しています。租税回避行動というものは

社会は安定して、「明日はもつと豊かになる」という空気になるります。労働者たちに明るい未来が待っていないたわけです。

しかし、今はそうではない未来ができてつづきます。それは、金融社会によって世の中が不平等になっているからであろうと思うのです。単純に言えばGDPに含まれる金融の割合が増えている。金融をGDPに含めるべきか、含めるべきではないのかには議論が必要となってきますが、一九五三年、現在の基準でのGDPの統計が始まったとき、金融は含まれていませんでした。その後、どんどん金融というものが入り込んできたのは、自国のGDPを増やせば金持ちにみえるからという国の政策的な意味もあったかと思えます。その中心となったのがアングロサクソンです。イギリスも、アメリカに追随したといえますか、むしろアメリカ以上に金融というものを重視していきました。

が密輸からタックスヘイブンへと移行してきたということが、ここまでのお話でおわかりいただけたと思います。

大衆消費社会と経済成長

私たちの世代は大衆消費社会誕生の現実を実体験しています。アメリカの経済学者サイモン・クズネットスが提唱したクズネットスカーブ（クズネットス曲線）というものがありません。資本主義勃興期は経済格差が生まれるけれども、やがてその経済格差は縮んでいくという論です。フランスの経済学者トマ・ピケティは「現在、クズネットスカーブは成り立たない。なぜなら格差社会が生まれたから」といつていますが、なぜ格差社会が生まれたのかについては、彼は明確に論じていません。

かつては、クズネットスカーブの論の通り、格差はほとんど縮まってきました。人々が消費財、特に耐久消費財を購入するようになったから

金融社会の進展とアメリカの

コミッション・キャピタリズム

一九八〇年代以降、金融ビッグバンといわれるような金融の自由化がイギリスから興り、それが進んでいきます。これによりイギリスの主な自動車会社がすべて外国資本の傘下となり、金融業がGDPの二〇%、租税収入の約一〇%を占めるようになりました。イギリスの金融街といえはシティです。国内の金融の割合と国外のそれを比較した場合、シティはアメリカのウォール街よりも国外の割合が高い。理由は、おそらく大英帝国の時代から外に開かれていたからだろうといわれています。対して日本は、金融のたいへん弱い国です。十数年前、世界の三大金融街はウォール街、シティ、兜町でしたが、現在では、兜町の重要性は大きく低下してしまいました。イギリスの次はアメリカです。具体的にはゼネラルエレクトロニクス(GE)が金融へとシフトしていきま

です。耐久消費財が最初に購入され始めたのは一九二〇年代のアメリカです。自動車、アイロン、洗濯機、冷蔵庫、ラジオなどをミドルクラスの人々が購入するようになりました。あの時代にこういうものが消費されるようになっていたアメリカの消費水準は、ヨーロッパよりも明らかに高い。アメリカは国土の割に人口が少ない国です。人間が希少材ともいえる状態ですから、人数が少ない分だけ多くの賃金を出さなければなりません。そのために様々な耐久消費財を購入することができ、中流に属する人々が多くなって社会が安定していきます。

一九五〇年代、六〇年代の高度経済成長期時代の日本も同じです。白黒テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫などが普及していきました。洗濯機も今は全自動洗濯機が当たり前になり、白黒テレビもカラーテレビになりました。高度経済成長期の時代には自動車も普及しました。そうして比較的豊かな人々が増えれば、その膨れ上がったければ、どうしても「持てる人」「持たざる人」の境が生まれ、格差が広がって不平等な社会が生まれます。極端な例ですが、投資会社であり金融会社であるゴールドマンサックス社の役員が退職し、政府の要職につくことになり、利益相反とならないよう、彼は所有していたゴールドマンサックス株を売らなければならなかったのですが、その額は五億ドル、当時の為替換算で五百億円に及びました。しかも彼の五億ドルには税金がかかりませんでした。

そのアメリカのコミッション・キャピタリズムはどのような形になっているのかといえば、典型例がクレジットカードです。そのクレジットカード会社のひとつ、VISAの営業利益率は、二〇二一年十月から十二月までの三ヶ月で六七・七%。キーエンスをはるかに上回る超高収益です。今、クレジットカード

倶楽部だより

◎社名変更案内

- 新会社名 SWCC株式会社
 (旧) 昭和電線
 変更日 令和五年四月一日(土)
 ケーブルシステム株式会社
- 新会社名 株式会社RYODEN 西日本支社
 (旧) 菱電商事株式会社 西日本支社
 変更日 令和五年四月一日(土)
- 新会社名 ロジスティード株式会社
 西日本統括本部 西日本営業本部
 (旧) 株式会社日立物流
 西日本統括本部 西日本営業本部
 変更日 令和五年四月一日(土)

令和五年度役員名簿の訂正について

月報三月号に掲載いたしました役員名簿の記載の中で、評議員名に誤りがございました。

謹んでお詫び申し上げますと共に、訂正させていただきます。

(誤) 北野 昌平 (ダイダン)
 (正) 北野 晶平 (ダイダン)

総務グループの職務分担の変更について

令和五年三月一日から総務グループの職務分担を一時的に変更しております。

詳細につきましてはホームページの会員専用ページ内会員向けお知らせをご覧ください。

「えれき亭」の営業再開について

かねてより会員の皆様から営業再開のご要望が寄せられておりました、地下一階の「えれき亭」を再開させて頂くことになりました。

四月十七日(月)から営業の予定ですが、まずは「すぎ焼き」のご提供とさせていただきます。

内容や価格、予約方法など、詳しくは倶楽部のホームページに随時掲載させていただきます。

店舗内外も少し改装し、今後も会員の皆様に喜んでいただけるお店づくりに励んで参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



講演録 手数料が世界経済を決定する コミッション・キャピタリズムの形成から現代まで

ドを使わずして生きてはいけないといつても過言ではなくなっています。つまり、キャッシュレス社会となり、VISAに限らず、クレジットカードを使えば使うほど儲かるプラットフォームをアメリカはつくりあげた。アメリカは、クレジットカード型といってもよいコミッション・キャピタリズムをつくったのです。

今でもイギリスは強い金融力を有していますが、イギリスのコミッション・キャピタリズム中核にあつたのは電信でした。アメリカのそれは、断言することはできませんが、クレジットカードです。私たちは、

クレジットカードを使わないと生活ができず、しかもクレジットカードを使えば使うほど、アメリカが儲かるというシステムができていくのです。

資本主義である以上、他の人たちを働かせ、その上前をはねる仕組みをつくりあげていくことが重要になってきます。イギリスとアメリカはコミッション・キャピタリズムという方法で仕組みをつくりあげた。そしてそれにより、アングロサクソン

は今なお世界経済の覇権を握り続けているというのが本日の要旨です。

もしも、中国が覇権国家になろうとした場合、最終的には中国が果たして「放っておいても儲かるシステム」をつくることのできるのかどうかに行き着くのではないかと思います。

(令和五年二月十日)

講演抄録文責在記者

CLUB GRAF くらぶ・ぐらふ

◎午さん会(10月21日)
 『叱りの達人
 〽️パワハラといわれぬ叱り方』
 (有)ハートプロ 代表取締役社長 河村 晴美氏

◎午さん会(11月11日)
 『江戸のジャーナリスト、
 葛飾北斎に魅せられて』
 産経新聞社 客員論説委員 元産経新聞社 論説委員長 千野 境子氏

◎午さん会(11月18日)
 『米中間選挙後の
 国際情勢を読む』
 株式会社双日総合研究所 チーフエコノミスト 吉崎 達彦氏

◎午さん会(11月25日)
 『最近の金融経済情勢と
 先行きの見通し』
 日本銀行 大阪支店 副支店長 村國 聡氏

●●●●●
新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた
会員様へのご協力と当倶楽部の取り組みについて

平素は当倶楽部の運営にご協力頂きまして、誠に有難うございます。
さて、政府より三月十三日(月)から、これまで推奨されてまいりました「屋内でのマスク着用」につきまして、個人の判断に委ねると発表がありました。この指針に従い、当倶楽部として、下記の通り新型コロナウイルス感染症対策を変更させて頂きます。なお、感染状況などに変化があれば、適切な対応に見直すことといたします。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【会員様】

・マスク着用については会員様の判断とします。

【倶楽部職員】

・倶楽部内ではマスクを着用させて頂きま
す。
・出勤前は検温を行い、三十七℃を上回る
場合や、体調不良の場合は本人の出
勤を控えてさせて頂きます。(従来通り)

【施設の取り組み】

・検温、消毒液配備による手指消毒の態
憑、館内の清掃消毒を継続します。

●●●●●
電壮会講演会実施

「幕末の日露交渉」

電壮会(代表幹事 猪谷勇三氏)は、三月二日(木)二十三名の参加のもと、作家の一坂太郎氏を講師に招きご講演いただきました。まず、一坂氏はロシアとの最初の邂逅は、漂流民を日本に届けてきたことだと説明。当時の幕府は、唯一外国に門戸を開いていた長崎へ回るよう要請し、幕府役人の川路聖謨が窓口となったが、言葉が通じず、通訳の誤訳もあつて勘違いで日露の領土交渉が進んだと述べられました。

その後下田にアメリカのペリー来航した頃ロシアも大阪湾に現れ、大阪にも黒船襲来はあったが、たまたま大地震が起こり津波でロシアの船が大破。

ロシアに帰ることができなくなったので、ロシアの技術者と日本の船大工が共同で船を作る事になり、そのことにより日本の造船技術が大進歩したと話されました。

最後に、日本の北方領土について、樺太の南半分は日露戦争で勝利し得たものであるが、北方四島は日露間の国際法上の条約で日本の領土であると決まったことなので、四島は必ず返してもらわなければならないと締められました。



講師の一坂 太郎 氏

●●●●●
会員増強にご協力を
お願いいたします!!

会員の皆様には、会員増強にご協力いただきありがとうございます。

当倶楽部の発展のためには、会員企業の皆様そして個人会員の皆様の新入会員のご紹介が何よりも大切です。

「明るく、親しみのある倶楽部」として会員皆様に倶楽部ライフを楽しんでいただき、大切な交流の場として活用いただけるよう事務局一同頑張つてまいりますので、何卒お力添えのほどよろしくお願いたします。

ご入会希望

の方には、事務局がいつでもお伺いしご説明いたしますので、ご紹介方よろしくお願いたします。

| 区分 | | 会員区分 | 会費・入会金 |
|--------------|------|--------|---------------------------------------|
| 入会金 | 指定会員 | 1社(団体) | 7万円 |
| | | 新規入会 | 3万円 |
| | 個人会員 | 会員歴あり | 2~5年未満 1万円 5~10年未満 5千円 10年以上 無料 |
| 月額会費 会員一名 | 指定会員 | 一律 | 5,000円 |
| | 個人会員 | 毎月払い | 4,300円 |
| | | 半年払い | 4,050円 |
| | | 年一括払い | 3,800円 |

●●●●●
写真部撮影会
「須磨離宮公園」で実施

二月二十三日(木)に写真部は「須磨離宮公園」で撮影会を開催しました。あいにくの曇天模様の中午後からは晴れ、神戸市須磨区の丘陵に広がる八十二ヘクタールの広大で、西洋式庭園を中心とする本園と植物園からなる公園の中での撮影会となりました。撮影会を前後してのルアン神戸迎賓館での昼食会では、おいしい食事をいただきながら、写真談議に花を咲かせました。



ルアン神戸迎賓館にて

●●●●●
会議、セミナー、ミニコンサート等に
大ホール・会議室のご利用を!!

一〇〇年以上の歴史ある社交倶楽部、その会館の中にくつろぎに満ち、ゆつたりとした空間で、大切な会議やセミナー、講演会、展示会、ご商談、打合せに。また同窓会・OB会等の旧友との再会の場としてもぜひご利用ください。五階大ホールにはグランドピアノを備付けており、ミニコンサート会場として、そして、大スクリーンでシアター感覚のご利用とイベントにも多岐にわたりご利用頂けます。

当倶楽部は、交通の便も良く、低料金で十人程度からご利用が可能な大小二十三室の会議室とお稽古事にお使い頂けます和室三室、そして椅子席三六〇席の大ホールまでございます。

また、インターネットでのネット会議・セミナーもできます。

専門スタッフが、会場設営、また機材のご利用説明を致しておりますので、安心してご利用ください。



(五階ホールのグランドピアノ) しておりますが、引き続きご利用の際には手指の消毒・マスク着用のご協力をお願い申し上げます。

◎絵画部(水彩画)教室

三月度(一日・水曜日)の画材は、「人物・着衣」でした。

今回は四月五日(水)「春の風景」です。

◎囲碁部例会(三月十一日)

成績
三勝 三段 田中 泰 君
二勝 五段 井垣 文男 君
〃 四段 水島 健一 君
(参加者 六名)
(次回例会は四月八日(土))

◎将棋部例会(二月二十五日)

成績
二勝 六段 住原 廣 君
〃 五段 楠本 光秀 君
(参加者 四名)
(次回例会は四月二十二日(土)指導あり)

◎ゴルフ部第五九回 例会
(二月二十一日 晴れ 於宝塚GC)

成績 優勝 宮田 雅之 君 二位 久保 恭人 君 三位 石田 大君

・優勝コメント

この度は歴史あるゴルフ部例会にて優勝させていただきましたことは光栄の一言です。

雪のちらつく極寒の中、ご一緒させて頂きました藤本一平様、井上清志様には楽しい時間を過ごさせて頂きましたことに感謝申し上げます。

次回からは、さらに精進しつつ、皆様と楽しい一日を過ごせるゴルフ部例会となりますよう努めさせて頂きます。

今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

(次回は、第五六〇回例会)

三月二十三日(木)

茨木国際GC

◎撞球部 例会(三月四日)

成績 優勝 高坂 定男 君 二位 馬場 秀行 君 三位 籠谷 勇 君 四位 石井 大三 君 五位 大竹 一夫 君

(参加者 十五名)

・優勝コメント

優勝者の発表に自分の名前を呼ばれてビックリしました。

まさか優勝するなぞ予期していなかったの…。

いつも夢中で目の前の球を撞くのが一杯。後先を考える余裕など無く。対戦相手の皆さんには迷惑を掛けて申し訳なく思っています。

今後共宜しくお願い致します。

(次回例会は四月八日(土))

◎麻雀部 第二六〇回 大会(二月十八日)

成績 優勝 黒井 治 君 二位 塚本 雄藏 君 三位 橋爪 守 君 四位 青木 博陽 君 五位 塩谷 正樹 君

(参加者 二十名)

・優勝コメント

当日は、一局目開始早々に役満を上がり勢いづいて、二局目、三局目と良い流れで進んで行き、結果優勝する事が出来ました。前回大会では、二十人中、二十位の成績で終わりが大変悔しい思いをしました。麻雀部に入会して五年、初優勝する事が出来喜びもひとしおです。参加された皆様ありがとうございました。

コロナ感染防止対策、アクリル板の設置等、安全対策の準備を進めて頂いた、景山委員長、事務局の皆様々に感謝申し上げます。

コロナ感染が落ち着けば、次回開催からは、アクリル板を外し、ゆつたりとゲームを楽しめる日を期待します。

(次回大会は五月二十日(土))

◎俳句部

第八百四十七回 いなづま句会

俳誌「かつらぎ」主宰 森田純一郎先生 指導

令和五年二月十八日

兼 題 当季雑詠五句

選 者 吟

涅槃会はいづこ大寺静もれる 京麴虚業の人と酌み交はす 東洋の顔の囲める寝釈迦かな あたたかき妻と二人の昼餉かな 公園に職務質問冴え返る

いなづま句抄

- 梅林に地元女優の口ケのあり 富山 勝幸
○魚鼓打つやなほ深閑と冬の寺 難波 正行
○立春やしづかに人の動き出す 留岡 寛
○寒き朝すれ違ふ人みな黙す 野尻 弘輔
○暗闇の香りの先に梅白し 木下 貴友
○江戸三の亭ごことに柀挿す 広田 祝世
○山菜田を血管のごと水流る 出店智恵呼
○皮干して丹波猪肉商へる 奥村 恵子
○槌音の響く山荘春隣 前野美枝子
○豆御飯その湯気はやも豆匂ふ 東代 舞
○百合嶋比叙おろしにたじろがず 友岡 淑子

(○印選者選)

(注)

涅槃会(ねはんえ)・・・季語「涅槃」の傍題。お釈迦さまが沙羅双樹の下に入滅した日にちなむ法要で、各寺院では涅槃図を掲げる。(季語)

寝釈迦(ねじやか)・・・季語「涅槃」の傍題。お釈迦さまが入滅し横たわっているお姿で、そのまわりを弟子たちが取り囲んだ図を涅槃図という。(季語)

魚鼓(ぎよく)・・・木魚の原形とも言われる禅宗の僧具で、法要、儀式の始まりを人々に報せるために打ち鳴らされる。

江戸三(えとさん)・・・江戸時代、大阪「江戸堀三丁目」で商売をしていたことから始まり、現在では奈良の料理旅館。

柀挿す(ひいらぎさす)・・・節分の夜に、魔除け・厄除けを目的として鯛の頭を柀の枝に刺し戸口に挿しておくこと。柀の葉の棘は鬼の目を刺すことで鬼の侵入を防ぎ、鯛を焼いた煙の臭いを鬼が嫌がって近寄らないと言われる。(季語)

春隣(はるとなり)・・・冬も終わりに近づき、春の気配がごとくなく漂う様子をあらわす。(冬の季語)

百合嶋(ゆりかもめ)・・・季語「都鳥」の傍題。冬に北から渡って来るカモメの一種で、鴨川でも多く観察され、比叡山上空を通過し、琵琶湖で夜を過ごす。(季語) 因みに「都鳥」は隅田川の「ゆりかもめ」のことです。伊勢物語の一節に由来している。

(三月号(注)の訂正)

「霊泉の流れに沿ふや恵方径」 「霊泉」を季語として説明しておりますが、「恵方」が新年の季語となります。

他倶楽部案内

清交社の午さん講演会のご案内

会場：ANAクラウンプラザホテル大阪 五階ガーデンルーム他

時間：十一月二十分～十三時三十分

四月四日(火)

講題「禪茶一心」

臨済宗大本山建仁寺塔頭霊源院 住職 雲林院 宗碩 氏

四月十一日(火)

講題「企業経営の究極の課題である持続的成長には、あらゆる企業を取り巻く

パライムソフトに対応するべき経営倫理と経営論理活動を実践すると考える。」

山田コンサルティンググループ(株) 取締役会長 元京セラ(株)会長兼CEO 西口 泰夫 氏

四月十八日(火)

講題「日本画の魅力」

日本画家 山下 まゆみ 氏

四月二十五日(火)

講題「現代人の健康長寿とは？」

大阪公立大学理事長 西澤 良記 氏

※状況により中止になる場合があります。

◆出席ご希望の方は、当倶楽部事務局(更谷)に二日前までにお申し込み下さい。

◆会費/三,〇〇〇円(昼食代消費税込後日精算)

前日の午後五時以降は、キャンセル料が発生します。

☆ネクタイ着用